

ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

2026 年 7 月 17 日

PCI-RE2026019

ロイヤルエンフィールド、「HUNTER 350」の2026年モデルに 新色「ムンバイ・イエロー」と「ムーンショット・ホワイト」が 日本市場に追加上陸！



- HUNTER 350 に、個性的な新色 Mumbai Yellow (ムンバイ・イエロー)と Moonshot White (ムーンショット・ホワイト)が登場
- Mumbai Yellow (ムンバイ・イエロー)と Moonshot White (ムーンショット・ホワイト)のメーカー希望小売価格は 660,000 円 (税込)。
- 本日 2026 年 7 月 17 日(金)より、日本全国のロイヤルエンフィールド正規販売店で予約受付を開始

2026 年 7 月 17 日：中型モーターサイクルセグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、2026 年モデル「HUNTER 350 (ハンター・サンゴーマル)」のラインナップを拡充。6 月 15 日に発表した「Graphite Grey (グラファイト・グレイ)」に加え、新たに「Mumbai Yellow (ムンバイ・イエロー)」と「Moonshot White (ムーンショット・ホワイト)」の 2 色を追加いたします。

ROYAL ENFIELD

アーバン・グルーヴに合わせ、また世界中のクールな街並みにインスピレーションを得て設計した「ハンター 350」。新たに導入した2つの新色は、個性的でパワフルな街インド・ムンバイの空気に加え、空に浮かぶ星座をも HUNTER シリーズのコミュニティ「ハンター・トライブ」の輪に取り込みました。



Mumbai Yellow

(ムンバイ・イエロー)

今や世界中に知られる映画の街ムンバイで製作される個性的な映画の総称ボリウッド、それと化学反応するかのように広がるアート、絶え間ない人の流れといった、ムンバイの街が幾重にも重ねてきたエネルギーを取り込み、街角の空気をインパクトの強いカラー&グラフィックで仕上げました。



Moonshot White

(ムーンショット・ホワイト)

より物語性を重視したアプローチ。狩人の原型である星座オリオン座を現代的に再解釈しました。手描きのグラフィックと星座のモチーフを通して、「多様性」と「自己表現」というテーマを掘り下げています。

ROYAL ENFIELD

新型「HUNTER 350（ハンター・サンゴーマル）」の新色「ムンバイ・イエロー」および「ムーンショット・ホワイト」の予約受付を2026年7月17日（金）より日本全国のロイヤルエンフィールド正規販売店にて開始し、7月31日（金）より発売いたします。



HUNTER 350
Mumbai Yellow
(ムンバイ・イエロー)
660,000 円（税込）



HUNTER 350
Moonshot White
(ムーンショット・ホワイト)
660,000 円（税込）

※記載の価格はメーカー希望小売価格（税込）です。

※新車登録（届出）より3年間（走行距離無制限）保証

<ロイヤルエンフィールドについて>

1901年の創業以来、ロイヤルエンフィールドは美しいオートバイを作り続けてきた二輪車ブランドです。そのルーツは英国にあり、1955年にマドラス(現チェンナイ)に製造工場を設立。以来ロイヤルエンフィールドは、インドのミッドサイズ・モーターサイクルセグメントの成長を牽引してきました。ロイヤルエンフィールドのモーターサイクルは、美しく、シンプルで親しみやすく、ライディングする楽しさに溢れた乗り物である。それは我々ロイヤルエンフィールドが、自らを『Pure Motorcycling／ピュア・モーターサイクリング』と呼ぶ由縁です。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、クルーザーの「METEOR 350(メテオ・サンゴーマル)」、650 パラレルツインモーターサイクルの「BULLET 650(ブリット・ロクゴーマル)」、「CLASSIC 650(クラシック・ロクゴーマル)」、「SUPER METEOR 650(スーパー・メテオ・ロクゴーマル)」、「CONTINENTAL GT650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)」、アドベンチャー・モーターサイクルでは「HIMALAYAN 450(ヒマラヤ・ヨンゴーマル)」、アイコンックな「GOAN CLASSIC 350(ゴアンクラシック・サンゴーマル)」、「BULLET 350(ブリット・サンゴーマル)」、「CLASSIC 350(クラシック・サンゴーマル)」があります。また我々は2024年に、新しいシティ&電動モーターサイクルブランド『FLYING FLEA(フライング・フリー)』を発表しました。それはモダンなデザインと先進技術を融合させた、都市型モビリティカテゴリーにおける我々の新たなチャレンジでもあります。

また我々ロイヤルエンフィールドは、世界各地でモーターサイクルイベントを企画しています。とくに、毎年11月にインド西海岸のリゾート地ゴアの美しいビーチに、世界中からロイヤルエンフィールド・ライダーが集まるイベント「Motoverse(モトバース)」や、ヒマラヤ山脈の高地を走る「Himalayan Odyssey(ヒマラヤン・オデッセイ)」が有名です。世界中の人々がロイヤルエンフィールドを走らせる世界同日開催のライディングイベント「One Ride(ワンライド)」も実施しています。

インドのトラック大手 Eicher Motors Limited (アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2,000以上の店舗を構え、世界80カ国以上に1,200を超える店舗を展開しています。また、ロイヤルエンフィールドは、英国のブランディングソーブとインドのチェンナイに2つのテクニカルセンターを有し、インドの都市チェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルに2つの最新鋭の生産施設を運用しているほか、バングラデシュ、ネパール、ブラジル(2拠点)、タイ、アルゼンチン、コロンビアの7ヶ所に近代的なCKD(コンプリート・ノック・ダウン)組立工場も有しています。

ロイヤルエンフィールドのブランドや製品に関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

全国のROYAL ENFIELD 正規販売店は下記よりご確認いただけます。

<https://www.royalenfield.co.jp/dealers/>

本件に関するお問い合わせ先：ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>